

# 多摩川を歩く-川崎編-



約 3 km / 1 時間コース

-ルート-

京急川崎駅(Start)

- ①稲毛神社  
いなげじんじゃ
  - ②東海道かわさき宿交流館  
とうかいどう しゆくこうりゅうかん
  - ③田中本陣跡  
たなかほんじんあと
  - ④川崎稲荷社  
かわさきいなりしゃ
  - ⑤六郷の渡し・明治天皇の碑  
ろくごう わた めいじてんのう ひ
  - ⑥高規格堤防  
こうきかくていぼう
  - ⑦川崎河港水門  
かわさきか こうすいもん
- 港町駅(Goal)

歴史セミナ-多摩川を歩く-

多摩川沿川の散策を通して、多摩川の現状や流域の歴史文化などについて認識を深めていただくことを目的として、平成10年(1989)より実施しています。いろいろな地域にスポットを当て、多摩川周辺の歴史や文化財を学んでいます。これまでに19回が開催されました。

多摩川流域懇談会

「市民」「行政」「企業」「学識経験者等」から構成されています。各部会から代表者を選出した「運営委員会」において、「いい川」や《いいまち》の実現に向けて、ゆるやかな合意形成を図ることを目的としています。

【お願い】

1. 一般通行者や自転車に注意し、広がらないようにしてください。
2. 適度に休憩を取りながら散策しましょう。
3. 散策時間は目安です。実際とは異なる場合があります。

いなげじんじゃ  
① 稲毛神社

武の神とされる武甕槌神を祀った古社です。浅間神社や佐佐木神社など15の境内社をもちます。川崎区で最古の神社といわれています。

参考：川崎市 HP



とうかいどう しゆくこうりゅうかん  
② 東海道かわさき宿交流館

地域の方々の長年の活動を踏まえ、東海道川崎宿の歴史、文化を学び、それを後世に伝え、地域活動・地域交流拠点となることをめざして整備した施設です。

参考：川崎市 HP



たなかほんじんあと  
③ 田中本陣跡

寛永5年(1628)に川崎宿で初めて設けられた宿泊施設で、門構えや玄関があり延べ762㎡の堂々たる建物でした。

参考：川崎市 HP



かわさきいなりしや  
④ 川崎稲荷社

古くから川崎新宿のお稲荷さまとして、土地の人々の信仰を集めてきた神社です。戦災で社殿や古文書は消失したため、創建は不明です。

参考：川崎市 HP



ろくごう わた めいじてんのう ひ  
⑤ 六郷の渡し・明治天皇の碑

坂下に「雄井戸」と呼ばれる井戸があり、旧中原街道を隔てて西側にあった「雌井戸」とともに人々に親しまれてきました。明治元年(1868)の明治天皇の渡御の際には、23隻による舟橋が架けられました。現在新六郷橋には、欄干の渡船の Monument とともに渡船跡の碑と明治天皇六郷渡御碑が建てられています。

参考：川崎市 HP



こうきかくていぼう  
⑥ 高規格堤防

多摩川では、堤防の幅が通常の堤防よりも広い「高規格堤防」を整備しています。これにより、万が一計画を超えるような大洪水が起きて水が溢れることがあっても、堤防の決壊は防ぐことができ、壊滅的な被害を避けることができます。

【通常堤防】



参考：川崎市 HP

【高規格堤防】



完成堤防を越える洪水(超過洪水)が来た場合でも、なだらかな勾配を作ることで、越水等による堤防決壊を防ぎます。

かわさきかこうすいもん  
⑦ 川崎河港水門

川崎区を縦貫する大運河計画の一環として昭和3年(1928)に完成。高さ20.3m、水門幅10m。社会情勢の変化から計画は中止されましたが水門だけが残りました。白く大きな水門の頭部にあるオブジェは、往時の川崎の名産物であった梨やブドウ、桃などがモチーフにされています。水門のデザインや規模が高い評価を受け、平成10年(1998)国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

参考：川崎市 HP

